

# 恵友



医療法人恵友会 霧ヶ丘つだ病院  
 デイケアほっとホーム霧ヶ丘  
 訪問看護・ヘルパー・ケアプランステーション

## 今号の恵友

- ・ 慢性呼吸不全のケアの  
     地域での連携をめざして
- ・ 健康フェア2009
- ・ 在宅酸素友の会バスハイク報告
- ・ APSS (アメリカ睡眠学会)
- ・ トピックス『日本呼吸器学会ランチョンセミナー』  
     『AEAJ認定アロマセラピーアドバイザー取得』  
     『フィリップス社ダニー社長来院』  
     『産業医科大学生の実習受け入れ』



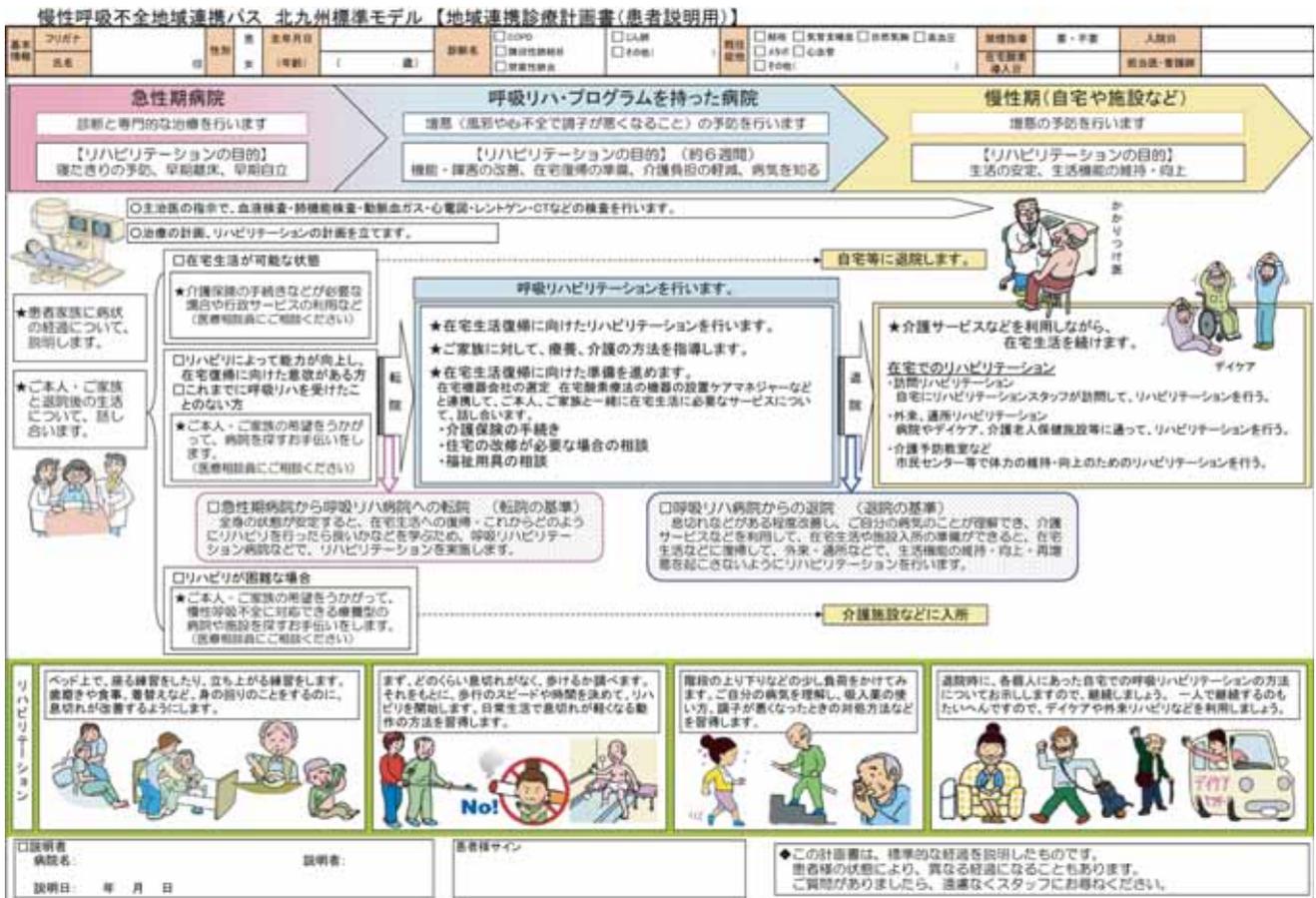
今号の表紙 『門司港レトロフェスタにて ~帆船 海王丸~』

毎年、ゴールデンウィークに開催される門司港レトロフェスタ。その門司港の海に悠然と入港する大型帆船『海王丸』。もともとは商船学校の練習船として誕生しましたが、帆を張った際に魅せる雄大かつ繊細な外観から『海の貴婦人』と呼ばれ、以来世界中の人々に愛されています。普段は富山港にある「海王丸パーク」に停船しており、一般公開もされています。 (撮影 廣畑正己)

# 慢性呼吸不全ケアの地域での連携をめざして

これまで、当院は呼吸器に特化したプライベートホスピタルの立場から、自己完結型で禁煙支援（COPDの予防）から診断・治療、増悪時の入院、呼吸リハ（医療保険・介護保険）に取り組んで参りました。患者さんにとっては急性期から在宅までの顔の見えるケアを継続することが安心につながりますが、お世話ができる範囲は半径5 kmほどに限られてくるのがわかってきました。

そこで、『地域医療の連携をどのように行うか』について考えてみることに致しました。北九州市では昨年、脳卒中地域連携パス北九州標準モデル（北九州市保健福祉局のホームページで公表）が作成され、それが運用に移されています。せっかくできた脳卒中の地域の連携の仕組みを慢性呼吸不全に活かさないか、また、慢性呼吸不全の患者さんの特徴をその中に入れ込むことができないか、当院でプロジェクトチームを結成し、慢性呼吸不全の連携パス試案を作成いたしました。



## 第2回 北九州呼吸リハビリテーション地域連携会

6月26日、小倉リハビリテーション病院の浜村 明德先生に司会をしていただき、北九州市呼吸リハビリテーション地域連携研究会を開催いたしました。浜村先生は日本の地域でのリハビリテーションをどのように進めるか、先頭になって活動されている先生で、北九州の脳卒中の地域連携パスの作成の中心的な先生であります。脳卒中と慢性呼吸不全、患者さんは少し異なっているかもしれませんが、地域の医師会、医療・介護スタッフが現場で情報を共有し、顔の見える連携を行っていく必要があるかと考えております。



浜村 明德 先生



津田 徹院 長

## 第2回 北九州呼吸リハビリテーション地域連携会

プログラム：『呼吸器疾患のADLをどのように評価するか？—FIMとNRADL』

江里口 杏平 理学療法士（霧ヶ丘つだ病院）

『北九州における慢性呼吸不全地域連携パスの試作』

津田 徹 院長（霧ヶ丘つだ病院）

特別講演『地域連携による呼吸リハビリテーション』

石川 朗 准教授（札幌医科大学）

参加人数：145名（職種別：医師21名、PT・OT96名、看護師・保健師8名、その他20名）

主催：福岡県内科医会 北九州ブロック

共催：社団法人 北九州市医師会 社団法人福岡県理学療法士会 フクダライフテック九州株式会社

特別講演では札幌医科大学の石川先生をお招きし、実際に地域において実践している訪問看護を中心とした地域連携による在宅呼吸リハビリテーションと在宅での運動療法をご紹介していただきました。

長野県北信地区において2週間入院による包括的呼吸リハプログラム終了後、訪問看護による月4回程度のフォローを実施し、診療所などと連携し在宅にて呼吸リハの継続指導を行っています。特徴としては、訪問看護師が入院時よりカンファレンスに参加して患者状態を把握し、プログラムを引き継ぎ、在宅で継続的な呼吸リハを支援しているということです。現在の参加施設は、基幹病院6、診療所他11、訪問看護ステーション18となっており、入院回数・日数の導入後減少他、QOLを含め費用対効果が高いことがわかりました。また、会の最後には『ながいき呼吸体操』（呼吸器疾患患者の運動の習慣と継続を促す目的で石川先生ご自身が考案し、運動耐容能と呼吸困難の改善に効果）を紹介いただき、参加者全員で体操を行いました。



石川 朗 先生

今後、当院だけでなく、いろいろな施設の活動とともに、このような連携会の機会を持って行きたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

## 北九州呼吸リハビリテーション研究会

2005年より北九州での理学療法士向けの呼吸リハビリテーション勉強会を、当院デイケア3Fで2～3ヶ月に1回の頻度で開催して参りました。

呼吸器疾患・リハ・人工呼吸器などのテーマで各病院の理学療法士、医師などが交代で講義を行ってきました。毎回、60～80人の熱心な方々が集結されます。この連携も地域での呼吸リハビリテーションのレベルをあげ、顔が見える連携に繋がっていくことになると思います。



参加病院：小倉記念病院・県立嘉穂病院・新小倉病院・飯塚病院・北九州総合病院・門司労災病院・小倉リハビリテーション病院・産業医科大学・牧山中央病院・新中間病院・聖マリア病院・芳野病院・浅木病院・小文字病院・九州厚生年金病院・新田原聖母病院・慈恵曽根病院・小波瀬病院・健和会大手町病院・市立医療センター・新行橋病院・新日鐵八幡記念病院・宮田病院

みなさんの健康生活サポート

# 健康フェア2009



5/16(土)、当院にて健康フェア2009を開催いたしました。

当日は、梅雨の到来を感じさせるかのような雨風でしたが、そのような悪天候にもかかわらず100人を超える地域の方々がお越し下さいました。隣接するサンキュードラッグ霧ヶ丘店の皆さんの応援もあって、今回の健康フェアも無事にとり行うことができました。

## 健康フェア2009プログラム

13:00 開場～

(1Fフロア)

- ・体脂肪測定 ・肺年齢
- ・身体測定 ・血管年齢
- ・聴力測定 ・血圧測定
- ・医師による健康相談
- ・睡眠相談 ・栄養相談

その他、バザーや展示など

16:00 終了

(4Fフロア)

・握力測定・アロマセラピー・リンパドレナージ

14:00～どどんば山田バンド ジャズ演奏1部

14:30～院長講演1部「良い睡眠をとろう！」

15:00～どどんば山田バンド ジャズ演奏2部

15:30～院長講演2部「良い息をしよう！」



皆さんに人気の1階測定コーナー  
自分の健康チェックができます

## ◎血管年齢や骨年齢・肺年齢の測定が大人気！！



1階では、いろいろな健康測定や医師・医療スタッフによる相談、展示やバザーなどを催しました。

血管年齢・肺年齢・骨年齢(サンキュードラッグ霧ヶ丘店)の測定コーナーでは簡単に自分自身の体内年齢がわかるため、これからの生活改善の目安にもできます。その他、医師や医療スタッフによる相談コーナーでは、普段気になっていることや知りたいことなど積極的に質問していた方々が多くみられました。

## ◎ジャズの生演奏やアロマ・リンパマッサージなど「癒し」の空間を。。



4階では、アロマセラピーやリンパドレナージ、院長の講演や『どどんば山田バンド』によるジャズの生演奏を催しました。アロマやジャズの生演奏で気分もリフレッシュ！からだの健康だけでなく、心の健康に気を配ることも大切ですね。 今年は雨天での健康フェアでしたが多くの方々にご参加いただきました。皆さんにご協力いただいたアンケートを次回以降の健康フェアに活かし、より満足していただける行事にしていきたいと思っています。今後ともよろしくお祈りします。

# バスは行く！

## 第21回～仙崎、青海島と湯本温泉の旅～

2009年4月22日 参加者 29名

スタッフ10名



第21回目のバスハイクの行き先は、「海上アルプス」と呼ばれる青海島（仙崎港）と長門湯本温泉です。青海島は日本百景にも選定されており、日本海の荒波が削った侵食地形、洞門、岩礁が連なる景勝地で、まさに大自然が作り出した美術館という名にふさわしい名所です。その入口にあたる仙崎は、かまぼこ童謡詩人の「金子みすゞ」で有名な港町です。

そして昼食は湯本温泉の大谷山荘にて、季節よりどりの美味しい御膳を。こちらの湯本温泉街には、定庵禅師（1373年～1432年）と老人（住吉大明神）の出会いにまつわる伝説が残っています。また、春は桜・夏は蛍にかじか・秋には紅葉・冬には雪景色と四季折々の自然の彩りを散策できます。

このような風情あふれる歴史ゆかしき場所へ、在宅酸素友の会「ひまわり」の皆さんとバスハイク。小春日和のなか、気持ち良く過ごすことができたのではないのでしょうか。

今回も多くの方々に参加いただき、当院の同行スタッフも張り切って行って参りました。



出発前のバイタルチェック



当院のドクターとパシヤリ☆



バス内はゲームで大盛り上がり♪



お昼は豪華な御膳を堪能しました！

今回、バスハイクにスタッフとして初めて参加させていただきましたが、私自身もずいぶん楽しませてもらったように思います。患者さんたちの楽しみぶり、行った先々での笑顔、キレイな景色と美味しい食事（特に名物のかまぼこ）、それらを一緒に行動している自分も自然と笑顔になっていました。そして、患者さん同士で笑ったり話したりしている様子を見て「仲間のチカラって凄いなあ」とつくづく感じました。一人だと旅行や外出は不安から気分もおっくうになってしまいましたが、友人や仲間がいると気持ちも軽やかに、旅行も外出も楽しめます。バスハイクがそんな「仲間づくり」のきっかけになると思いました。



スタッフもモリモリ食べています！

リハビリスタッフとして、今後は患者さんたちが外出する際の不安を少しでも取り除けるような工夫あるリハビリを目指していきたいと思います！

（理学療法士 松田 貴子）



ラブラブ(?) ツーショット♪



気の合うお友達と楽しいひととき



青海島特産物コーナーでお買い物

## A P S S (アメリカ睡眠学会) に出席して 検査科 森植 康貴

当院長の津田 徹と検査科主任の森植 康貴が6月3日～11日までの期間、アメリカのシアトルで開催されたA P S S (アメリカ睡眠学会) に出席しました。

6月3～4日の2日間は、以前当院にてS A S (睡眠時無呼吸) の治療用マウスピースを作成していただいていた津田 緩子先生の留学先であるバンクーバーの「ブリティッシュコロンビア大学」の睡眠ラボを見学させていただき、北米の睡眠医療の現状や検査体制・治療状況などの情報収集を行いました。その中で、北米では全人口に対するS A Sの検査が可能な施設が少なく、検査待ちが3ヶ月以上というところも多いようでした。また、C P A P治療に関しては、治療機器を購入して治療を行うことが主流であり、そのために新機種やマスクを変更するためには再購入が必要となります。その結果、低所得者層の医療費の負担が重く、『格差』が存在しているようでした。その点、日本では定期的に機器やマスクの交換も健康保険で賄われているため、睡眠医療に関しては格差が少ない恵まれた環境にあるように思います。北米の医療スタッフも日本の睡眠時無呼吸に対する保険制度の充実やC P A P治療のきめ細かい対応にとっても興味を抱いているようでした。

そして、津田院長とL o w e教授（マウスピースにおいて世界的シェアを持つ権威ある先生）との共同研究『Atherosclerosis and Cardiovascular Disease: Does the Dentist Have a Role? : 動脈硬化と循環器疾患について：歯科医師の果たすべき役割とは?』の討論では、当院のような呼吸器・循環器の医師と歯科医師の連携で、睡眠時無呼吸患者に対する未診断の循環器疾患等の発見が可能になるのではないかという内容で、とても興味のある研究だと感じました。



(左から)  
津田院長、津田 緩子先生、  
森植、L o w e教授



6月6日からシアトルで開催されたA P S S (アメリカ睡眠学会) において、『Examination of quality of sleep between smokers and non-smokers with obstructive sleep apnea : 閉塞性睡眠時無呼吸における喫煙者と非喫煙者の間の睡眠の質の検討』という題目で研究発表をしました。

研究結果として、重症無呼吸患者の場合は喫煙と睡眠の明確な因果関係を示すことは難しかったのですが、無呼吸のない喫煙者の場合は明らかに睡眠の質が悪化しており、睡眠の質の改善に禁煙が必要であることがわかりました。この発表には会場全体も共感しており、当院が睡眠治療のフォローとして禁煙指導も行っていることについて高い評価を得ることができました。そしてなにより、当院の睡眠衛生指導は世界的にみても良いシステムだということを通じて実感しました。生活に必要な睡眠に関して、医療者は今以上の介入が必要ではないかと思えます。また、当院の役割としてこのような睡眠医療システムの啓蒙を続けることの重要性を再認識するとともに、今後もより多くの患者さんのために力を注いでいこうと思えます。



今回の睡眠学会はアメリカのシアトルで開催されました。



世界で初めて睡眠時無呼吸症候群を報告したギルミノー教授（写真右）と森植



当院の研究発表も他国の医療スタッフの参考になったのではないのでしょうか。



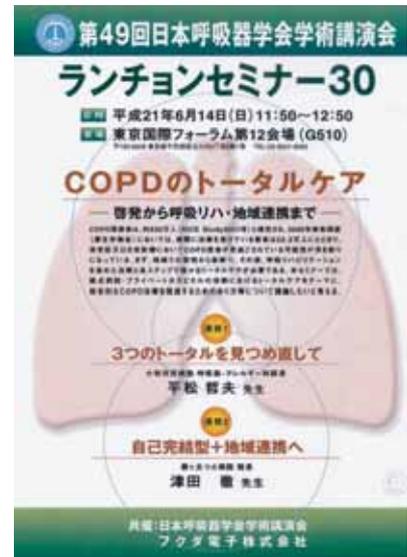
睡眠に関する最新医療機器や薬剤が並ぶ展示会では、いち早く情報をキャッチすることができます。



## 日本呼吸器学会ランチョンセミナー

当院長の津田 徹が6月14日（日）に東京で行われた日本呼吸器学会学術講演会ランチョンセミナー『COPDのトータルケア』に講師として招かれました。

愛知県小牧市民病院の平松 哲夫先生は公立病院の立場から、津田 徹院長はプライベートホスピタルの立場から、COPDの患者さんにより良い医療が提供ができるかのお話を致しました。



## A E A J 認定アロマセラピーアドバイザー資格取得

当院看護師の花田 ゆかりが、このたびAEA J（社団法人日本アロマ環境協会）認定アロマセラピーアドバイザーの資格を取得いたしました。

当院では末松MSWに続いて2人目となり、アロマセラピーチームが誕生したことになります。今後は外来呼吸リハビリ教室だけでなく、病棟の入院患者さんにもアロマセラピーを提供できるよう取り組んでいきたいと思っております。



看護師  
花田 ゆかり



## フィリップス社（医療機器部門）のダニー・リスバーク社長来院

当院が1994年に鼻マスクを用いた非侵襲的な人工呼吸法を開始し、その後の睡眠時無呼吸の検査機器やCPAP治療と、その頃よりのお付き合いとなるダニー・リスバーク氏がフィリップス社（アメリカの電気メーカーでは有名）の医療機器部門の社長となり来院されました。



ダニー社長と津田院長、  
当院検査科スタッフ



## 産業医科大学の学生実習を受け入れています

産業医科大学公衆衛生学 松田教授よりの御依頼で『医療の質を高めるために、各医療機関がどのようなことを実践しているか』についての学生実習を受け持たせていただきました。

院長の入院から在宅までの呼吸リハのレクチャーに始まり、呼吸リハ、訪問看護、ケアマネジャーなどの部署に分かれ分野別の説明を致しました。



産業医科大学の実習生11人

## 外来担当のご案内

### 【外来担当表】

2009. 6. 1

下記の担当医は、都合により変更になる場合がございます。その場合は他の医師が診察いたしますのでご了承ください。  
**水曜の夜は19:30まで**一般内科外来を受け付けています。勤め帰りの方もご利用ください。

	午前 (9:00~12:00) 受付は11:30まで	午後 (14:00~17:00) 受付は16:30まで	(17:30~20:00) 受付は19:30まで
月	津田 徹 浅井 友香里 [九大呼吸器科] (良永 倫子 (10:30~))	一木 克之	
火	津田 徹 一木 克之 良永 倫子 (10:30~)	リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
水	午前外来休診	喘息・呼吸器外来 井上 博雅 [九大呼吸器准教授] 川波 由紀子 [産医大呼吸器科]	一般内科・呼吸器外来 津田 徹 (一木 克之) 一般内科・糖尿外来 市野 功 [九州労災病院]
木	津田 徹 良永 倫子 自見 勇郎 (10:30~)	喘息・呼吸器外来 相澤 久道 [久大1内科教授] リウマチ外来 加茂 洋志 自見 勇郎	
金	津田 徹 一木 克之 山本 真基子 (10:30~)	坂崎 優樹 [久大1内科]	
土	自見 勇郎 / 一木 克之 [隔週] 山本 真基子 / 國本 政端沖 / 坂崎 優樹 [交替] 睡眠呼吸障害優先外来 津田 徹 [第1, 3, 4土曜] 北村 拓朗 [第2土曜]		(注) 院長の外来診療は、予約制となります。

※月に一度、最初の診察日には**保険証**を忘れずご持参ください。

※日曜、祝日、土曜午後、水曜午前は休診です。(その他の休診日については、その都度掲示致します)

※睡眠呼吸障害外来の初診は月~土の全診療時間で行っております。

※当院にお掛かりの方で喘息の発作その他緊急時には、夜間でも電話(952-1304)をかけてご来院ください。



医療法人恵友会  
霧ヶ丘つだ病院

デイケアほっとホーム霧ヶ丘  
訪問看護・ヘルパー・ケアプランステーション

発行日 : 2009年7月11日

編集発行人: 松田 和人

発行所 : 医療法人恵友会

〒802-0052

北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-20

Tel. 093-921-0438 Fax. 093-921-5988

ホームページ: [www.k-you.or.jp](http://www.k-you.or.jp)

メール: [info@k-you.or.jp](mailto:info@k-you.or.jp)